

東京上映会(2009年2月10日)の感想

* 上映会広報などで適宜ご利用ください。

人間はこわい。
モラルなき人間が権力を持つことの危険を教えてくれる。
他人を認めることがどんなに大切かと……

ショック。
ブッシュ政権はあまりにもひどい。
真実を知る義務がありますね。

収容所の非人間的である現実を
よく証言したフィルムである。

許しがたい事実。
しかし、知らなければ私たちも罪であり、
実際に同様のことを犯したかもしれない。
世界中の倫理を問う作品。

アフガン→アブグレイブ→グアンタナモと展開される事実が
わかりやすく表現されていた。

「腐ったリンゴ(A few bad apples)」というのは間違いで、
そのおもとの木が腐っていたのだと感じた。
その木を切れるか否か、オバマ氏に期待する。

人が人でなくなることはどういうことか？
拘束者たち、兵士たちが恐怖で支配されているからだ。
生きて戻ってきた拘束者たち、真実を語る兵士たちにありがとうと言いたい。
そして、恐怖をつくり出す構造をなくしたいと思いました。